２０２６年度 京都大学フィールド科学教育研究センター
舞鶴水産実験所 全国公開実習「仔稚魚学実習」(*海洋生物科学技術論と実習Ⅳ)
実施要項

１．授業科目：〔仔稚魚学実習〕(海洋生物科学技術論と実習Ⅳ※)

京都大学農学部特別聴講学生としての受講が可能であり，本学より 2 単位を発行する．ただし，単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること．特別聴講学生とならずに実習に参加する場合は，実習の履修後に「実習修了証」を発行する．実習修了証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること．実習は京都大学農学部生と合同で行う．

※本実習は「水産海洋フィールド教育プログラム」（京都大・長崎大・広島大・北海道大）に含まれます.

２．実施施設： 京都大学フィールド科学教育研究センター　舞鶴水産実験所（京都府舞鶴市）

※自家用車等での来所は認めません．公共交通機関を使って来てください.

３．実施期間： ２０２７年３月８日（月）～１２日（金）

４．対象学生：

特別聴講学生になる場合：学部２・３年生

特別聴講学生にならない場合：学部生の全年次（文系・理系を問わない）

※京都大学農学部特別聴講学生としての受講を希望する場合については次頁「８．授業料及び参加費用」を必ず参照すること.

５．定員：5 名

６．必要提出書類：

・特別聴講学生願書（特別聴講学生になる場合）または受講願（特別聴講学生にならない場合）

・受入依頼書（特別聴講学生になる場合）

・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険加入証明書（領収書等のコピーでも可）

※上記保険は所属大学が正課と認める他大学の実習で適用されます．この実習が正課となるかどうかは所属大学にご確認ください．正課と認められない場合は必ず自分で同等以上の保険に加入し，実習中・移動中の万一の事故で保証されることをご確認ください.

７．申込締切：

特別聴講学生になる場合：２０２６年１１月１３日（金）必着

特別聴講学生にならない場合：２０２７年1月１５日（金）必着

先着順で申込を受け付け，原則として，定員に達した時点で締め切りとする．

８．授業料及び参加費用：

・授業料

特別聴講学生になる場合：１単位あたり１４，８００円*×２単位＝２９，６００円

特別聴講学生にならない場合：不徴収

※国立大学生及び京都大学との間に大学間相互単位互換協定を締結する公立・私立大学に所属する学生は，授業料は不徴収となります．詳細は所属大学の教務・学務担当に照会すること．

・参加費用　宿泊費：３，６００円（９００円×４泊），昼夕食費：実費（弁当代×９食）

※昼食と夕食は原則として事務室でまとめて購入し、実費精算．

※朝食、軽食、飲物、現地集合・解散の場合の交通費は別途自己負担．

※京都大学農学部と舞鶴水産実験所の間の移動については，京都大学農学部生用の貸切バスを利用することもできる．集合時刻や解散時刻は担当職員に問い合わせること．

９．提出・問い合わせ先：

〒６２５－００８６ 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター　舞鶴水産実験所

電話：０７７３－６２－５５１２　E-mail：maizurukyoten@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方は**メール（maizurukyoten@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）にて早めに受講意思を連絡**し，担当職員から必要書類を受け取ること．受け取った書類に必要事項を記載のうえ，担当職員へメールを送付することで受付を完了とする．ただし，書類は個人情報を含むため，必ずパスワードをかけること．

１０．実習日程と内容：

3/8（月）：西舞鶴駅西口１０時１０分集合

安全講習，水産研究・教育機構宮津庁舎の見学　実験所で宿泊

3/9（火）：稚魚の耳石分析と胃内容物分析　実験所で宿泊

3/１０（水）：調査船による環境観測と底生生物採集　実験所で宿泊

3/１１（木）：サンプルの同定と計数　データ解析　報告会準備　実験所で宿泊

3/１２（金）：報告会準備　報告会

西舞鶴駅西口１６時２０分解散

※遠方から参加する実習生には，実験所での前泊，後泊を認める場合がある

※天候等により日程や内容を変更する可能性がある（特に，実習初日に舞鶴市を含む地域に大雨・洪水・暴風の警報が発令されていたり，JR 舞鶴線が運休していたりする場合は日程

や内容を大幅に変更せざるを得ない）

※集合時刻や集合場所の変更のような緊急連絡は舞鶴水産実験所のホームページとX（旧Twitter）およびメール送信により知らせるため，少なくとも1つはアクセスできる状態にしておくこと．